

校長通信 (12月号)

December / 1st / 2025 / VOL 039

僕たちはなんで掃除をするのでしょうか？真剣に考えてみました。

日本の学校では掃除をすることが当たり前となっています。多くの学校（小学校／中学校／高等学校）において、掃除は教育活動の一環として位置付けられ、毎日行うものとして、生徒も教職員も担当の持ち場を掃除する文化が根付いています。近年では、「教員の働き方改革」の一環で、この掃除を生徒や教員が行わず、清掃業者に委託する学校もあるようです。掃除についての捉え方はさまざまあっていいと思いますが、御殿場西高校では掃除を業者に委託するつもりは一切ありません。むしろ、教育活動の一つとして、これから先もずっと大切にしていきたいと思っています。

海外に目を向けてみましょう。日本のように生徒や先生が掃除をすることが一般的な国は、実は少数派だそうです。ある調査によると、世界105カ国中、生徒が掃除を行う国はわずか34.3%だったそうです。それ以外の国では掃除は「作業・職業」という視点が強く、生徒が行うべきものではないという考えが主流となっています。学校で掃除を行うと、むしろ清掃業者の役割や雇用の機会が減ってしまうという意見もあるのです。しかし、その一方で、公共の場でも平気でゴミを捨てる、汚してもそのまま放置する、落書きや破損が絶えないなど、公共意識が育たないという一面も抱えています。

先日、30年前に御殿場西高校にカーディニアからの留学生第1号としてやってきたダニエルくんと20年ぶりに再会した際、学校を案内している時に掃除の話になりました。オーストラリアで掃除の文化がなく、最初は戸惑ったことを話していました。しかし、掃除はとても大切な学びの場になったそうです。そして、日本以外の国も取り入れるべきとてもいい教育の機会だと話していました。だからこそ、日本の学校は掃除をなくさない方がいいということでした。どうしても、私たちは隣の芝は青く見えるせいか、清掃業者を入れて生徒が掃除をする必要のない海外の学校がよく思えてしまいます。しかし、ダニエルのように、日本での生活を経験した海外の人たちは、掃除の大切さをより実感しているということがわかりました。

では、掃除をすることで何につながるのでしょうか。表面的に綺麗にする、あるいは掃除のテクニックが向上するなどは今回は除き、私たちの内面にフォーカスを当てて考えていきたいと思います。**まず一つ目は「謙虚さ」を身につけることです。**自分自身に対しても、自分の周囲に対しても、環境に対しても、謙虚さを持続することは非常に大切です。謙虚さを持つことで、自分はまだまだ、もっと磨かなくてはならないと感じ成長することができます。人が社会で生きる上で不可欠なものだと思っています。**二つ目は「感謝の心を育てる」ということです。**掃除は環境への感謝に始まり、周囲に対して感謝する姿勢を育ててくれます。私もトイレ掃除を担当していますが、生徒たちとともに掃除をする中で、感謝の気持ちが強くなっていくのを感じています。一緒に掃除してくれる仲間、トイレを綺麗に使ってくれている生徒たち、毎日学校に登校してくれる生徒たち、生徒を温かい家庭で支えてくださる保護者の方々、これまで学校施設を掃除し大切に使ってくれた卒業生の皆さんに対し、「ありがたい」と思えるようになりました。当たり前だと思っていたが、そんな当たり前なことが本当にありがたいことで、一つ一つ、1日1日に対して感謝しなくてはと思う今日この頃です。そして、**三つ目は「自分自身をより理解してもらえる場」だということです。**これは生徒も先生方にも両方に当てはまる事だと思いますが、掃除は単調な作業の繰り返しでもあり、面倒だと感じてしまいがちな活動もあります。しかし、前述した通り、謙虚さや感謝の心を養う場であり、自分以外の人のための行動もあります。そうした行動をしている姿は、必ず誰かが見てくれています。直接的かもしれないし、間接的かもしれません。誰かのためにする努力の持つ力は、自分のための努力の比になりません。そしてその行為は、何倍もの大きさになっていつか必ず自分に返ってきます。毎朝、柔道部の皆さんが学校を掃除してくれています。心から感謝をしていますし、自分も柔道部の皆さんに負けないように頑張ります。

仰高祭（文化の部）「史上最高のできごと～君と描く未来～」

11月7日・8日の2日間で仰高祭（文化の部）2025を開催しました。御殿場西高校にとって年間行事の中でも最も大きなイベントであり、生徒たちも企画から運営まで、実行委員の生徒を中心に実施しました。今年も2日目は一般公開ということで、保護者に加え、地域の方々、中学生、卒業生など多くの方が来校してください、イベントを盛り上げてくれました。2年生が担当した模擬店もほぼ完売となり、いい形でおもてなしをすることができたのではないかと思います。ステージでパフォーマンスをする生徒、模擬店で接客や販売をする生徒、校内展示で学校を彩る生徒、それぞれの出番に溢れた文化祭となりました。このイベントを通して掴んだもの、形成した何かを、これから学校生活でも有効に活用してもらいたいと思います。ご来場いただきました皆様、ありがとうございました！！



公開授業（斎藤友昭先生）

「授業/探究学習」は御殿場西高校におけるもっとも大切な教育活動です。授業で生徒は学び、感じ、変化し、成長していきます。理科の斎藤友昭先生の公開授業では「マイクロディベート」を取り入れ、主体的で対話的で深い学びの実践を紹介してくれました。生徒がより主体的で対話的になるような細かい仕掛けや、より自分ごととなるようなテーマへの工夫などもあり、斎藤先生の授業デザイン力が光る授業でした。時代や社会が変われば、求められるスキルも変化していきます。学校の授業も常に変化し、アップデートし続けるものでなくてはですね！



出会いや学びの機会の創出

御殿場西高校には「ランゲージバディ」という存在がいます。これはALTではなく、英語を話すことをサポートしてくれる存在として、授業や放課後の時間などで生徒たちとさまざまな形で関わってくれる人たちです。出身は英語圏だけでなく、ヨーロッパ、南米、アジアなど様々です。こうした国では英語は母国語ではなく第2言語として学ばれており、日本と全く同じなんです。でも日本人よりも圧倒的に話せる。なぜ？どうやって？いつか自分もこんなふうに話せるようになれるの？こうした出会いを通して、英語をもっと学ばなくちゃ！って思ってもらいたいです。



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。12月となり2025年もあとわずかとなりました。定期試験は終了しましたが、終業式までの授業はテスト返却やプレゼンテーション等の「思考力/判断力/表現力」を評価する場が待っている授業多くあります。また3年生は進路実現に向けてここからが本番となります。一般受験は3月まで続きます。最後の最後まで学力は絶対に伸びていきますので、1日1日を大切に過ごしてもらいたいと思います。

〈12月の行事予定〉

- 12月10日（水）献血
- 12月12日（金）コース行事の日（各コースごと異なります）
- 12月16日（火）～ 午前授業
- 12月24日（水）2学期終業式（冬季休業：12/24～1/7）
- 12月29日（月）学校閉鎖（1月4日（日）まで）



DECEMBER 2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			